

◎第 12 回理事会 (39.5.7) 出席者：山本会長，岡本副会長，羽田専務理事，江口，嶋，田中，前沢，三野，渡辺の各理事。議事録署名理事：江口理事，羽田専務理事。

A. 協議事項：1) 38 年度事業および決算報告について。2) 土木賞授与候補者決定について。3) 吉田賞および吉田研究奨励金授与候補者決定について。4) 寄付金の募金繰入れについて。5) 水工学研修会開催の件。6) 39 年度 夏期講習会開催の件。7) その他。B. 報告事項：1) 会計報告。2) 刊行物申込み状況。3) 会員入退会。4) その他。

◎定例常議員会 (39.3.30) 出席者：関係者 27 名。議事：1) 理事の定数決定について。2) 理事，監事の選挙について。3) 昭和 39 年度事業計画および予算をつぎのとおり可決。

昭和 39 年度事業計画

學術，技術の進展に即応して，各種委員会の活動を活発にし，会誌，論文集の拡充，改善および新刊図書刊行を図り，研究発表会，講演会，講習会，見学会等の行事をさかんに行ない，また海外との連携を一層密にして，學術，技術および土木事業の進歩発展に寄与する。なお本年は創立 50 周年にあたるので土木図書館の新設，数種の記念出版物の刊行，記念式典，講演会，見学会，巡回映画等の行事を行なう。また会員増加運動も積極的に行なう。

本年度の主なる事業はつぎのとおりである。

主なる事業

1) 通常総会 (39.5.29) 仙台市

昭和 38 年度事業報告および決算報告。定款の一部改正。名誉会員の推挙。土木賞および吉田賞，同研究奨励金の授与。評議員会の議決事項の報告。

2) 評議員会

4 月～5 月 半数改正

5 月 定例会議

総会提出議案

3 月 定例会議

昭和 40 年度事業計画および予算

3) 理事会

毎月 1 回 会務審議

5 月 定款改正に伴う増加理事および監事の選挙ならびに半数改選

4) 支部長および支部幹事長会議

本支部間の連携を密にするため，支部長会議 1 回，支部幹事長会議 2 回を開催する。

5) 各種委員会

1. 会誌編集委員会：土木学会誌 49 巻 5 号～50 巻 4 号を編集し，内容の充実および増ページを計る。なお本年は創立 50 周年にあたるので記念号 (50 巻 1 号約ページ) を編集する。

2. 論文集編集委員会：土木学会 論文集第 104 号～第 115 号を編集する。また 300 ページの内容の充実を計る。

3. 文献調査委員会：内外文献の調査，整理，抄録および目録の作成，學術的動向の展望と解説記事の作成等を行ない会誌に掲載するほか，50 周年記念として会誌，論文集総索引を編集する。

4. 出版企画委員会：出版物の企画，管理にあたるとともに 50 周年記念出版物刊行へ積極的に協力する。

5. 海外連絡委員会：国際会議の連絡を行なう。来朝の学者，技術者の見学会等の斡旋を行なう。また Civil Engineering in Japan 1965 を編集して我が国の土木工学の學術，技術を海外に PR するとともに国外との交流を計る。

6. 水理委員会：水理学の研究活発化と各研究機関相互間の連絡の緊密化を計る。若手水工技術者のため 7 月水理学研修会を，また 2 月に第 9 回水理学講演会を開催する。国際水理学会議の準備を行なう。

7. 水理公式集改訂委員会：前年度 8 月に増補改訂した「水理公式集」に対する会員の質問に解答，5 年後に予定する次回改訂に備えて，会員の意見その他資料を収集整理等を続ける。

8. 耐震工学委員会：地震に関する国内外の連絡，震害の調査を行なう。英文地震工学の改訂編集を行なう。10 月に第 7 回地震工学研究発表会を開催する。振動学便覧の編集を行ない，来年度刊行の予定。国鉄委託の耐震構造設計研究委員会の研究に協力する。

9. 橋梁，構造工学委員会：国際橋梁，構造会議との連絡を行なう。第 11 回橋梁，構造研究発表会を日本学術会議および日本建築学会と共催で行なう。

10. コンクリート委員会：コンクリートおよび鉄筋コンクリートに関する研究を総括し，小委員会，分科会，原子力関係の活動を活発化する一方従来に引続き，フライアッシュ，異形鉄筋，その他積極的に委託研究を行なう。またコンクリートに関するシンポジウムを随時開催

し，コンクリート・ライブラリーを刊行する。日本建築学会との連合委員会において，両学会のコンクリートおよび鉄筋コンクリートに関する諸問題，国際問題の処理を行なう。

① プレストレスト・コンクリート小委員会；プレストレスト・コンクリート設計，施工指針の次期改訂に備え，設計，施工，コンクリート，鋼材，グラウトの 5 分科会に分けてそれぞれ専門的に研究を進める。

② 鉄筋コンクリート標準示方書改訂小委員会；鉄筋コンクリート標準示方書の改訂につき審議する。

③ 無筋コンクリート標準示方書改訂小委員会；無筋コンクリート標準示方書の改訂につき審議する。

11. 土木製図規格委員会：昭和 28 年制定の土木製図基準 (1) の一部を改定して発行する。

12. 原子力土木技術委員会：原子力の土木技術に関する調査研究を行なう。原子力関係学会と共催で第 3 回原子力研究総合発表会を開催する。

13. 海岸工学委員会：第 11 回海岸工学講演会を 11 月に大分県で開催し講演集を出版する。Coastal Engineering in Japan Vol. 7 を編集するほか海岸施設便覧および海岸工学用語集の編集を行なう。

④ 海岸工学論文編集小委員会；第 11 回海岸工学講演会講演集および Coastal Engineering in Japan Vol. 7 の編集を行なう。

14. 土木賞委員会：土木賞候補の詮衡を行なう。

15. 50 周年記念事業委員会：総務，行事，記念出版，図書館建設の各委員会でそれぞれ分担して記念事業の円滑を計る。

⑤ 総務委員会；記念事業資金の募金，表彰，渉外，経理，その他，各委員会との連絡を計る。

⑥ 行事委員会；式典，講演会，祝賀会，見学会，映画コンクール，巡回映画等を実施する。

⑦ 記念出版委員会；つぎの記念刊行物の編集ならびに監修を行ない，各出版物の連絡調査を行なう。

○ 土木工学ハンドブック (前年度上巻発行)

○ 土木用語辞典

○ 建設/創造/技術 (写真集)

○ 土木学会 50 周年略史

○ 学会誌記念特集号 (50 巻 1 号)

○ 大正以降日本土木史

○ 学会誌，論文集総索引

○日本土木技術発展のあゆみ(仮称)

④ 図書館建設委員会; 土木図書館を建設する。

16. 吉田賞委員会: 吉田賞候補者および吉田研究奨励金候補の詮衡を行なう。

昭和39年度予算

自 昭和39年4月1日

至 昭和40年3月31日

1. 普通会計

| 収入の部 | | 支出の部 | |
|------------|-------------|-----------|-------------|
| 科目 | 金額 | 科目 | 金額 |
| 1. 会費 | 41 881 000 | 1. 用地費 | 565 000 |
| 1. 正会員 | 25 123 000 | 2. 事務費 | 24 495 000 |
| 2. 学生会員 | 1 841 000 | 1. 人件費 | 19 790 000 |
| 3. 特別会員 | 14 917 000 | 2. 旅費 | 550 000 |
| 2. 論文集購読料 | 1 274 000 | 2. 備品消耗品費 | 1 850 000 |
| 3. 刊行物 | 22 220 000 | 4. 通信費 | 1 380 000 |
| 1. 既刊 | 12 200 000 | 5. 光熱水道料 | 315 000 |
| 2. 新刊 | 10 020 000 | 6. 福祉厚生費 | 150 000 |
| 4. 行事費 | 1 600 000 | 7. 手数料 | 260 000 |
| 1. 講習会 | 900 000 | 8. 雑費 | 200 000 |
| 2. 見学会 | 100 000 | 3. 会費徴集費 | 1 150 000 |
| 3. 水理学研修会 | 600 000 | 4. 公祖公課費 | 597 000 |
| 5. 広告料 | 19 220 000 | 5. 会議費 | 2 798 000 |
| 1. 学会誌 | 16 824 000 | 1. 総会 | 550 505 |
| 2. 論文集 | 504 000 | 2. 役員会 | 2 248 000 |
| 3. その他 | 1 892 000 | 6. 支部交付金 | 7 242 000 |
| 6. 預金利子その他 | 1 320 000 | 1. 普通 | 2 414 000 |
| 7. 受託研究費 | 30 000 000 | 2. 特別 | 4 828 000 |
| 8. 印税 | 740 000 | 7. 会誌発行費 | 23 504 000 |
| 9. 雑収入 | 400 000 | 8. 論文集発行費 | 3 570 000 |
| | | 9. 刊行物 | 14 500 000 |
| | | 1. 既刊 | 5 150 000 |
| | | 2. 新刊 | 9 350 000 |
| | | 10. 行事費 | 2 113 000 |
| | | 1. 講演会 | 713 000 |
| | | 2. 講習会 | 1 300 000 |
| | | 3. 見学会 | 100 000 |
| | | 11. 土木賞費 | 500 000 |
| | | 12. 調査研究費 | 5 171 000 |
| | | 13. 受託研究費 | 27 000 000 |
| | | 14. 図書整備費 | 550 000 |
| | | 15. 施設維持費 | 100 000 |
| | | 16. 引当金 | 3 100 000 |
| | | 17. 渉外費 | 400 000 |
| | | 18. 広報費 | 300 000 |
| | | 19. 予備費 | 1 000 000 |
| 合計 | 118 655 000 | 合計 | 118 655 000 |

2. 吉田賞会計

| 収入の部 | | 支出の部 | |
|-------------|-----------|------------|-----------|
| 科目 | 金額 | 科目 | 金額 |
| 1. 東京電力株配当金 | 1 980 000 | 1. 賞金 | 100 000 |
| 2. 貸付信託預金利子 | 148 000 | 2. 奨励金 | 1 000 000 |
| 3. 銀行預金利子 | 44 000 | 3. 賞牌 | 24 000 |
| | | 4. 受賞者旅費 | 20 000 |
| | | 5. 委員会費 | 170 000 |
| | | 6. 論文審査費 | 100 000 |
| | | 7. 事務費 | 110 000 |
| | | 8. 雑費 | 35 000 |
| | | 9. 次年度へ繰越金 | 613 000 |
| 合計 | 2 172 000 | 合計 | 2 172 000 |

17. トンネル工学委員会: トンネル工学標準示方書解説の編集を行ない、8月の夏期講習会においてトンネル工学をテーマにして講習を行なう。なおこの講習会においてトンネル工学シリーズ No. 2を発行してテキストの一部とする。

18. 衛生工学委員会: 衛生工学の調査研究を行なう。本年8月開催の第2回国際水質汚濁研究会に積極的に参与して研究の交流を計る。

19. 岩盤力学委員会: 岩盤力学に関する国内外の連絡をとる。第1~第4分科会に分けてそれぞれ専門的に調査研究を行なう。11月に土質学会、材料学会、日本鉱業会等と共催で岩の力学に関する講演会を行なうために本年度は恒例の岩盤力学講演会は開催しない。

20. 学術講演連絡委員会: 各委員と連絡をとり、夏期講習会および学会誌掲載の講座をテキストとして講習会を企画する。

21. 大学土木教育委員会: 土木技術者が社会で果たして来た役割とその歴史的背景を追求し土木技術者のあるべき姿を明らかにして今後の大学土木教育に対する指針の明示とその具体的実現に努力する。本年度はサンプリング調査およびシンポジウム等も行なう。

22. 高校土木教育研究委員会: 高校における土木教育の調査研究を行なう。実験指導書を前年度の土質、土木材料に引き続き編集の予定。

23. 土木図書館運営委員会: 文献資料の収集、整備、その他図書館の運営に關与する。

24. 委託研究が予定される。主なるものはつぎのとおりである。

① 本州四国連絡橋技

術調査委員会(建設省、日本鉄道建設公団): 本州四国連絡橋について技術的検討を行なう。

② コンクリート委員会・原子力関係小委員会(科学技術庁): 放射性廃棄物の海中投棄用容器に関する研究を行なう。

③ コンクリート委員会・異形鉄筋実験研究小委員会(鉄鋼メーカ、7社): 高張力異形棒鋼に関する実験研究を行なう。

④ コンクリート委員会・フライアッシュ小委員会(フライアッシュ協会): フライアッシュを混入したコンクリート中における鉄筋のさびに関する長期研究を行なう。

⑤ 耐震構造設計研究委員会(日本国有鉄道): 土木建造物の耐震設計指針の検討を行なう。

⑥ 八郎潟干拓船越水道計画施行研究委員会(農林省): 八郎潟干拓船越水道計画、施行の研究を引続き行なう。

⑦ 河北潟干拓建設事業所放水路・河口工事に関する研究(農林省)

6) 行事:

5月 第19回年次学術講演会および見学会(仙台市)

7月 大学土木教育シンポジウム(東京)
水理学研修会(京都)

8月 夏期講習会「トンネル工学について」(東京)

第2回国際水質汚濁研究会議(共催東京)

9月 第14回応用力学連合講演会(共催東京)

10月 第7回地震工学研究発表会(東京)

第8回材料試験連合講演会(共催東京)

レオロジー討論会(共催京都)

50周年記念国土開発映画コンクール

11月 風のシンポジウム(共催東京)
岩盤力学連合講演会(共催東京)

50周年記念式典(東京)
祝賀会(東京)

講演会(東京)
見学会(東京、東海道)

巡回映画会(東京、全国主要都市)

第11回海岸工学講演会(大分県)

2月 第9回水理講演シンポジウム(東京)

随時講演会、シンポジウム、講習会、見学会。
各支部 講演会、シンポジウム、講習会、

見学会、映画会、学生のための催物等を定期または随時開催。なお本年は50周年記念にあたるので催物を企画する。

◎定例評議員会(39.5.12) 出席者: 55名(委任状をふくむ)。羽田専務理事の進行により原田干三氏を議長に選び、原田議長のもとに議事録署名者として後藤正司、有江義晴の両氏を選任したあと、山本会長から挨拶ののち、羽田専務理事が前回の議事録を読み上げ確認したのち議事に入る。

議事: 1) 総会提出議案; 議案 1. 昭和38年度事業報告につき羽田専務理事説明、異議なく原案通り承認。議案 2. 昭和38年度決算報告につき羽田専務理事説明、異議なく原案通り承認。議案 3. 土木学会定款一部改正の件につき第1回評議員会で可決されたもので原案通り承認。議案 4. 名誉会員推挙の件につき羽田専務理事、内規および推薦理由を説明し候補者の審議方法、現在人員数の確認の後、原案通り承認。議案 5. 土木賞の授与につき羽田専務理事、土木賞委員会の選考経過を説明、異議なく原案通り承認。議案 6. 吉田賞および吉田研究奨励金の授与につき羽田専務理事、吉田賞委員会の選考経過を説明異議なく原案通り承認。議案 7. は議題と関連あるため後とまわしとする。議案 8. 評議員会の決議事項報告につき第1回評議員会で可決済みのものであるため異議なく承認。2) 新役員選挙の結果報告、羽田専務理事より新役員推薦世話人会 要望事項について世話人会代表、永田年氏の報告書を読みあげ議案7のとおり選出されたことを説明し、世話人会の状況について、原田干三、松尾新一郎両世話人より補足説明があり質疑応答がなされたが、原案通り承認。3) 基金編入について; 羽田専務理事より説明、原案通り可決。4) その他。

◎各種委員会

(1) 出版企画委員会(39.4.1) 森副委員長、嶋幹事長、ほか3名。議事: 1) 第2回委員会報告。2) 50周年記念出版物予算の一部変更について報告。3) 新規出版物の企画について協議、各委員にアンケートを出すことの諒承をえた。4) 学会誌講座の単独出版については編集委員長に一任するが幹事会においては差し支えないと認める。5) 印税率の改正については、本委員会と協議する。6) 出版物のほん訳出版について個々のケースについて事務局で調査する。7) 大学、工専などの卒業生調査について報告、なお時間をかけて十分に調査する。

(2) 吉田賞委員会吉田研究奨励金小委員会(39.4.3) 出席者: 横田委員長、ほか5名。議事: 昭和38年度吉田研究奨励金被授与者の選考を行なった。

(3) 本州四国基礎に関する専門部会第4回施工調査幹事会(39.4.3) 出席者: 関係者 10名。議事: 省略。

(4) 本州四国基礎に関する専門部会第26回幹事会(39.4.7) 出席者: 沼田部会長、ほか14名。議事: 省略。

(5) 土木賞委員会予選投票開票立会(39.4.8) 出席者: 山本委員長、国分学術賞主査、ほか5名。議事: 予選投票の開票を在京委員立会のもとに行なった。

(6) 論文集編集委員会各部会(39.4.8) 出席者: 第1部会・奥村部会長、ほか5名、第2部会・吉川部会長、ほか5名、第3部会・三木部会長、ほか4名、第4部会・村田部会長、ほか6名。議事: 1) 各部会ごとに審査中原稿の審査報告および新規受付原稿審査委員の決定。2) 委員交代について。3) その他。

(7) 関東地区評議員候補者推薦世話人会(39.4.9) 出席者: 関係者9名。議事: 関東地区評議員推薦候補者を決定。

(8) 会誌編集小委員会(39.4.10) 出席者: 八十島委員長、ほか4名。議事: 1) 原稿投稿状況報告。2) 49巻第6号編集の件。3) 委員交代の件。4) その他。

(9) 本州四国耐風設計小委員会第19回幹事会(39.4.10) 出席者: 平井委員長、ほか10名。議事: 省略。

(10) 文献調査委員会(39.4.10) 出席者: 千秋委員長、ほか11名。議事: 49巻6号登載抄録について。2) 解説記事について。3) 委員交代について。4) 総索引について。

(11) 出版企画委員会(39.4.10) 出席者: 奥村副委員長、嶋幹事長、ほか8名。議事: 1) 38年度第3回幹事会出席報告。2) 50周年記念出版物予算の一部変更について。3) 印税率の改訂について。4) 英文出版物の問題について。5) 学会誌講座の単独出版について。6) 新規出版物の企画について(アンケート結果を含む)。7) 大学、工専、工業教員養成所などの土木系学生調査について。8) その他。

(12) 理事・監事候補者推薦世話人会(39.4.13) 出席者: 関係者 10名。議事: 理事・監事の候補者推薦とその任期の決め方について話し合った。

(13) 本州四国耐震設計小委員会第12回幹事会(39.4.14) 出席者: 岡本委員長、ほか16名。議事: 省略。

(14) 岩盤力学委員会第1分科会(第3回)(39.4.15) 出席者: 井上主査、ほ

か16名。議事: 岩石種別の工学的特徴について。

(15) 土木図書館運営委員会幹事会(39.4.15) 出席者: 米元委員長、千秋幹事長、ほか8名。議事: 1) 外国雑誌バックナンバー購入リスト確認。2) 国際会議論文集のバックナンバーの購入の件。3) 公庁、研究所、各会社発行の出版物の調査の件。4) ハンドブック、辞書類購入の件。

(16) 論文集部会長会(39.4.15) 出席者: 奥村、吉川正副委員長、村田部会長、ほか5名。議事: 1) 各部会報告。2) 論文集第106号・第107号登載原稿の決定。3) 委員交代について。4) その他。

(17) 岩盤力学委員会第3分科会(第4回)(39.4.16) 出席者: 駒井主査、ほか3名。議事: 1) 第3分科会の取扱いテーマについて。2) グラウト工について。3) 爆破工について。4) 次回第3分科会開催について。

(18) 関東地区評議員打合せ(39.4.16) 出席者: 関係者 10名。議事: 1) 関東地区理事・監事候補者推薦とその任期を決定。2) 関東地区設立総会運営について。

(19) 写真集「建設・創造・技術」年表部門主査幹事会(39.4.16) 出席者: 片山委員長、ほか4名。議事: 1) 写真集に登載する年表の体裁の決定。2) 区分けおよびその登載件数、担当者の決定。3) その他。

(20) 写真集「建設・創造・技術」年表部門執筆打合せ(39.4.16) 出席者: 片山委員長、ほか4名。議事: 1) 工事写真集進行状況報告。2) 年表作成の基本方針協議。3) サンプルを幹事が作成し部門別の件数、担当者を決め割当てについて。4) その他。

(21) 本州四国基礎に関する専門部会施工調査幹事会打合せ(39.4.17) 出席者: 関係者 17名。議事: 省略。

(22) 本州四国基礎に関する専門部会第27回幹事会(39.4.17) 出席者: 沼田部会長、広田副部会長、ほか4名。議事 省略。

(23) 大学土木教育委員会第9回幹事会(39.4.17) 出席者: 米屋委員長、嶋幹事長、ほか4名。議事: 1) 委員会に提出する資料について各分担幹事より説明検討を行なった。2) 39年度の諸調査について。3) 次回幹事会開催について。

(24) 大学土木教育委員会(39.4.17) 出席者: 米屋委員長、嶋幹事長、ほか17名。議事: 過去8回の幹事会によって集め検討した結果の資料について各幹事よりそれぞれ説明しこれに対する検討を行

なった。

(25) 高校土木教育研究会幹事会(39.4.18) 出席者: 福田委員長, 八十島幹事長, ほか 10 名。議事: 1) 土木材料実験指導書発行について。2) 高校土木教育研究会を委員会に改組について。3) 今後の活動計画について。4) その他。

(26) 第 1 回河北潟干拓河口工事研究委員会(39.4.18) 出席者: 関係者 19 名。議事: 1) 任田北陸農政局長挨拶。2) 羽田土木学会専務理事挨拶。3) 自己紹介。4) 委員長選出。5) 調査報告。6) 委員会運営方針。7) その他。

(27) トンネル工学委員会トンネル標準方書解説編作成打合せ(39.4.18~19) 出席者: 加納幹事長, ほか 14 名。議事: トンネル標準方書解説編の第 1 次原案について審議検討を行なった。

(28) 理事・監事候補者推薦世話人会(39.4.20) 出席者: 関係者 12 名。議事: 理事・監事推薦候補者とその任期ならびに世話会の構成を決定。

(29) 本州四国上部構造に関する専門部会第 18 回幹事会(39.4.20) 出席者: 関係者 7 名。議事: 省略。

(30) 第 3 回土木賞委員会(39.4.20) 出席者: 山本委員長, 国分学術賞主査, ほか 18 名。議事: 1) 経過報告。2) 開票結果事前審議。3) 決定投票の開票。4) 受賞論文の決定。5) 委員の交代。6) 来年度委員会への申送事項。7) 総会における委員長経過報告および受賞理由の原稿作成について。

(31) 大正以降日本土木史打合せ(39.4.21) 出席者: 青木委員長, ほか 5 名。議事: 1) 執筆進行状況報告。2) 原稿料(単価, 支払い方法)について。3) 監修上の問題。

(32) 第 3 回吉田賞委員会(39.4.21) 出席者: 藤井委員長, 国分副委員長, ほか 17 名。議事: 1) 吉田賞受賞候補, 本審査投票の開票。2) 吉田賞受賞者の決定。3) 吉田研究奨励金小委員会報告。4) 来年度の委員会構成および運営。5) 昭和 37 年度吉田研究奨励金被授与者研究報告。6) 総会における委員長の経過報告および受賞理由作成。7) その他。

(33) 土木賞幹事打合せ(39.4.23) 出席者: 関係者 2 名。議事: 1) 第 3 回委員会議事録の作成。2) 経過報告および受賞理由の作成。

◎その他

(1) 第 6 回コンクリート連合委員会(39.4.7)

場所: 日本建築学会会議室
出席者: 関係者 16 名

議事: 1) 前回議事録の確認。2) JIS 鉄筋コンクリート用棒鋼架の重量, 許容差について。3) 訳語分科会について。4) コンクリート用語統一について。5) セメント化学シンポジウムについて。6) その他。

(2) 土木系学生の会(39.4.13)

場所: 土木学会会議室
出席者: 法大, 中大, 早大, 都立大, 武蔵工大, 東海大, 日大(7 名)

議事: 学会誌原稿打合せ

(3) 土木系学生の会(39.4.16)

場所: 土木学会会議室
出席者: 法大, 中大, 早大, 都立大, 武蔵工大, 東海大, 日大(15 名)

議事: 1) 土木系学生集会および野球大会打合せ。2) 学会誌原稿打合せ。

(4) 第 29 回関東地区学生諸君のための映画会(39.4.18)

場所: 土木学会会議室
参加者: 18 名

上映映画: ①フレコラム工法 ②ビル建築の機械化 ③蒸気養生組立コンクリート工法

(5) 岩の力学連絡委員会(39.4.22)

場所: 日本鉱業会
出席者: 土木学会 3 名
日本鉱業会 3 名
土質工学会 2 名

議事: 1) シンポジウムプログラムについて。2) 予算について。3) その他。

(6) 日本工学会定時総会(39.4.30)

場所: 金剛飯店
議題: 1) 昭和 38 年度会務報告。2) 昭和 38 年度収支決算報告。3) 昭和 39 年度事業計画案。4) 昭和 39 年度予算案。5) 定款一部改正について(役員任期等について懇談)。

(7) 関東地区評議員当選者報告

支部だより

◎北海道支部

(1) 第 5 回講演会(39.4.10, 北大クラーク会館) 講演者: 水を求めて北大工学部丹保憲仁氏。映画 1) 新しい水のめぐみ, 2) 世界に伸びる, 3) 奥只見地下発生所。参加者: 300 名。

(2) 第 10 回幹事会(39.4.20, 不二家) 出席者: 林幹事長, ほか 9 名。議事: 1) 38 年度決算について。2) 恒久予算について。3) 支部規定改正について。4) 39 年度役員について。5) 支部総会開催について。

(3) 第 5 回商議員会(39.4.24, 日之出会館) 出席者: 林幹事長, ほか 11 名。

幹事長より経過報告の後議事に入る。議事: 1) 評議員選挙開票。2) 支部総会次第について。3) 38 年度決算について。4) 恒久予算の検討。5) 39 年度商議員候補について。6) 支部規定改正について。7) 支部会計監査員選出について, 8) その他。

(4) 昭和 38 年度支部総会(39.4.30,

札商ビル) 総会次第: 1) 開会の辞(林幹事長)。2) 上戸支部長挨拶。3) 議長選出(上戸支部長)。4) 上戸議長挨拶。5) 38 年度事業並びに会計報告(林幹事長)。6) 会計監査報告(横田 清氏)。7) 支部規定改正(板倉委員長)。8) 支部奨励賞受賞者発表。9) 支部奨励賞の授与(受賞者青木 弘, 林 亀一, 高橋 毅の 3 名)。10) 新支部長選出(北大酒井忠明氏選出さる)。11) 新商議員並びに監査選出。12) 新支部長酒井忠明氏挨拶。13) 閉会の辞(林幹事長)。つづいて映画上映: ①名神高速道路山科工区舗装工事(日本舗道提出), ②橋(開発局提供), ③御母衣ダム総集編(電発提供)。参加者: 60 名。

(5) 第 1 回事務局運営委員会(39.4.4, 於土試察) 出席者: 5 名。議事: 1) 事務局維持方針について, 2) その他継承事項。

(6) 新旧支部長引継ぎ(①39.4.30, グランドホテル) 出席者: 上戸前支部長, 林前幹事長, 酒井新支部長, 北郷新幹事長。(②39.5.4, 事務局) 事務局引継ぎ, 新支部長, 新旧幹事長, 山本事務局長説明。

(7) 第 1 回評議員支部内打合せ(39.5.6, 於不二家) 議事: 1) 理事監事候補者推せん世話会 出席結果の報告並びに検討(小山評議員詳細説明)。2) 本部開催(5 月 12 日) 評議員会出席について。

◎関西支部

1) 学生のための映画会(第 1 回)(39.4.18, 大阪大学工学部 1 号館 4 階講堂)

上映映画: ①静かなる工法, ②摩耶埠頭建設の記録第 1 編, 第 2 編, ③征服された地盤, ④トンネルとメタルフォーム
参加者: 95 名

(2) 第 1 回見学会(住友金属和歌山製鉄所見学会)(39.4.21)

見学先: 住友金属和歌山製鉄所 高炉, 圧延工場, 製管工場, 港湾施設
参加者: 87 名, 参加費: 150 円

(3) 第 2 回見学会(神戸市鉢伏山土取見学会)

見学先: 神戸市埋立 事業局鉢伏山土取現場, 空中コンベヤーによる輸送状況, 須磨栈橋積出し状況
参加者: 71 名, 参加費: 150 円

(4) 臨時商議員会(39.4.28, 土木学会関西支部事務局)

出席者：石田支部長，松尾幹事長，ほか 25 名。

(5) 第 4 回商議員会 (39.5.8, 中央電気倶楽部)

出席者：石田支部長，松尾幹事長，ほか 22 名。

(6) 第 37 回通常総会 (39.5.8, 中央電気倶楽部)

① 昭和 38 年度行事報告および会計報告

② 支部規定改正について，つぎの通り改正された。

③ 新役員紹介

支部長 (昭和 39 年度)

山崎 博 (神戸市土木局長)

商議員 (昭和 39, 40 年度)

芦田 和男 (京都大学防災研究所助教授)

福見健一郎 (神戸市都市計画局計画課長)

尾崎 重雄 (第三港湾建設局次長)

川北 敬之 (京都市都市計画局整地課長)

川島 普 (大阪工業大学教授)

金馬 昭郎 (京阪電気鉄道KK 建設部土木課長)

柴田 篤成 (国鉄関西支社工事課長)

高村 靖 (大阪市港湾局技術部計画課長)

寺田 久弥 (大阪市総合計画局計画部 第一課長)

波田 凱夫 (大阪大学工学部助手)

西野 康光 (日本道路公団大阪支社 補修課長)

野口 功 (国鉄大阪工事事務課長)

藤森 哲 (大和設計KK 専務取締役)

村上 元男 (奈良県土木部河川課主幹)

毛利 遊三 (西松建設KK 関西支店次長)

安山 信雄 (大阪市立大学工学部助教授)

評議員 (昭和 39, 40 年度)

岡田 清 (京都大学工学部教授)

柿 徳市 (パシフィック コンサルタンツ

KK 大阪出張所長)

村瀬 清 (国鉄大阪幹線工事事務長)

④ 新, 旧支部長挨拶

⑤ 講演

1. 近畿の道路整備計画について

近畿地方建設局長 上田 稔

2. 名神高速道路開通後の問題について

日本道路公団高速

道路大阪建設所長 池田雄二

参加者：69 名

(7) 総会懇親会 (38.5.8, 中央電気

倶楽部)

参加者：57 名 (うち招待関係 15 名)

参加費 300 円

(8) 昭和 39 年度幹事長および幹事

(39.5.8 委嘱)

幹事長：

松尾新一郎 (京都大学工学部教授)

幹 事：

赤尾 親助 (大阪大学工学部助教授)

赤野 豊 (KK 大林組土木本部工事事務

長)

新井 敬造 (ピー・シー・橋梁KK 代表取

締役)

岩佐 義朗 (京都大学工学部教授)

遠藤 正一 (大阪府土木部高潮課長)

川崎 健次 (KK 鴻池組本店土木営業部

長)

川崎 精一 (近畿地方建設局企画室長)

栗林春日子 (大阪市土木局下水道部 第二建設

課長)

小林 二郎 (KK オリエンタルコンサルタ

ンツ大阪支社長)

田辺 陽一 (国鉄大阪工事事務所停車場課長 補佐)

西村 昭 (神戸大学工学部助教授)

速水 経明 (関西電水KK 建設部水力計画

課副長)

松本 幸憲 (神戸市土木局宅地開発課長)

水野 俊一 (大阪市立大学工学部助教授)

小仲 次郎 (KK 栗本鉄工所営業部長)

◎中国四国支部

(1) 第 3 回幹事会 (39.4.23, 水野組

会議室)

出席者：関係者 9 名。議事：1) 39 年

度商議員会開催について。2) その他。

◎西部支部

(1) 第 1 回幹事会 (39.5.8)

出席者：長谷川幹事長，ほか 13 名。

議事：1) 評議員選挙結果報告。2) 事業

計画と実施について。3) 第 50 回大会視

察について。4) 支部監査委嘱について。

5) 本部理事推薦について。6) 学術講演

連絡委員推薦について。7) 各種委員会出

席回数について。8) その他。

(2) 映写会 (39.5.20, 熊本市九電ビ

ル別館)

参加者：294 名

(3) 映写会 (39.5.22, 宮崎県自治会

館)

参加者：129 名

上映映画(両所共)：

①若戸大橋 ②関門国道トンネル

③一ツ瀬ダム ④川内川に築く

編集 後記

恒例の 5 月の最終日曜
日を中心に昭和 39 年度
の総会および年次学術講
演会が東北支部のお世話で青葉かお
る仙台において，盛大に開催され全
国より 1500 名をこえる会員が参加
し，意義ある大会に終始しましたこ
とはご同慶の至りと思えます。本号
はこの総会における恒例の行事と総
会講演の記事を中心とした東北大会
特集が約半分をしめています。総会
において表彰された土木賞，吉田賞
受賞の方々の横顔と論文要旨も掲載
しましたが，これらの方々の輝しい
成果に深い敬意を表するものであり
ます。年次学術講演会の内容をご紹介
する一般報告は例年は，7 月号に
載せましたが本年は 8 月号登載とい

うことになっております。

× × ×

東北大会以外の記事として本号に
は最近大いに問題にされている大学
における土木教育のあり方につい
て，これを調査研究している学会常
置委員会の報告と米屋秀三氏の論説
がありますが，土木技術の進歩にと
ってこの人づくりの基礎問題は今後
ますます熱心に研究されねばならぬ
ものと考えられます。最近とみに進
歩変革のいちじるしい測量部門につ
いて現状とその技術理論の解説を講
座として本号から 6 回にわたって掲
載することになりましたが，大いに
ご期待いただけるものと確信してお
ります。また石井靖丸氏の“構造用
材としての鋼の今後の役割り”は将

来の構造部材の勢力分野の色分けを
考える上に大変ご参考になる面白い
論説だと思えます。

本誌には本年 2 月号より学生欄と
して 1 ページをもうけ，学生學員
(現在のところは関東地区大学の会
員)の方々の記事をのせております
が，まだ十分有意義な内容のものに
なっていないように思われます。今
後この欄が学生会員に本当に役立つ
ページとされることを切望します。
学生会員の方々の投稿の場は学生欄
のみに限られるものではありません
ので，本文欄の原稿として書く場合
もあってよいのです。若い新鮮な鋭
い感覚による論説などは大変結構で
本誌に涼風をそそぐものとして歓迎
されるでしょう。(森 麟・記)

昭和 39 年度土木学会誌編集委員

| | | | | | | | | |
|------|---------------------------------|--------------------------|--------------------------|---------------------------|-------------------------|--------------------------|--------------------------|--|
| 委員長 | 八十島 義之助 | | 副委員長 | 樋口 芳朗 | | | *印は幹事兼務 | |
| 委員 | 天野 礼二 菊川 哲土 土屋 昭 湯 浅 昭 | 浅谷 陽治* 齋木 三郎 寺尾 英二 | 茨木 竜雄 渋谷 祥夫* 原田 信昭 | 上田 勝基 城野 忠雄 豊島 修 | 遠藤 篤康 高橋 裕 南部 繁春 | 大久保 喜市 立石 俊一 中村 正平 | 小坂 忠 玉木 勉 町田 富士夫 | |
| 地方委員 | (北海道支部) 菅原 照雄 河野 文弘 | (東北支部) 三浦 晃 阿部 泰夫 | (関東支部) | (中部支部) 酒井 清太郎 増田 重臣 | (関西支部) 赤尾 親助 西村 昭 | (中四支部) 門田 博知 玉井 敏一 | (西部支部) 小坪 清真 長友 文昭 | |

会員入退会について (昭和 39.5.1~5.31)

| | | |
|----|---|-----------------------------------|
| 入会 | 会 | 646 名 (正 106 学 532 特 1.D 5 特 2 3) |
| 復活 | 会 | 3 名 (正) |
| 退会 | 会 | 25 名 (正 24 特 1.D 1) |
| 死亡 | 格 | 2 名 (名誉 1 正 1) |
| 転格 | 格 | 9 名 (正→学 2 特 1.D→特 1.C 1 学→正 6) |

特別員入退会

| | | | |
|-----|------------------------|----------------------|-----------------------|
| ○入会 | 昭和 39.5.9 特 1.D | 日本エンジニアリングKK | 東京都港区芝罘平町34 (共和ビル) |
| | ” 39.5.12 ” | 運輸省伊勢湾港湾建設部四日市港工事事務所 | 四日市市大浜町 4 番地 |
| | ” 39.5.18 ” | 運輸省港湾技術研究所設計基準部 | 木須賀市川間 162 |
| | ” ” | 運輸省港湾技術研究所構造部 | 横須賀市川間 162 |
| | ” 39.5.20 ” | 同和鉱業KK秋田鉱業所技術室 | 秋田県鹿角郡小坂町 |
| | ” 39.5.22 特 2 | 宇都宮大学付属図書館 | 宇都宮市峰町 350 |
| | ” 39.5.30 ” | 鹿児島大学農学部農業工学科 | 鹿児島市上荒田町 1946 |
| | ” ” | 千葉工業大学土木研究会 | 習志野市谷津町 |
| ○退会 | 昭和 39.5.16 特 1.D | 日本ライニング工業KK | 神戸市東灘区本庄町 深江字葉王寺町 1-1 |
| ○転格 | 昭和 39.5.18 特 1.D→特 1.C | 日本特殊土木工業KK | 東京都千代田区神田美土代町 6 番地 |

会員現在数

| | | | | | | | | | | | |
|----|--------|-------|----|----|-------|-------|-------|-------|-----|--------|-------|
| 名誉 | 正会員 | 学生会員 | 賛助 | 特級 | 特 1.A | 特 1.B | 特 1.C | 特 1.D | 特 2 | 合計 | (増) |
| 47 | 15 418 | 1 880 | 30 | 17 | 16 | 48 | 231 | 346 | 36 | 18 069 | (622) |

| | | | |
|------|---------|---------------|----------|
| 名誉会員 | 米元 晋一君 | 昭和 39.5.10 死去 | 85 才 |
| 正会員 | 宮田 隆一郎君 | 神戸製鋼所顧問 | ” ” 58 才 |

支部所在地

| | |
|--------|---|
| 北海道支部 | 札幌市平岸 北海道開発局土木試験所内 (電 札幌 83-4161) |
| 東北支部 | 仙台市北三番丁 124 建設省東北地方建設局企画室内 (電 仙台 22-4191) |
| 中部支部 | 名古屋市中区南外堀町 6 の 1 名古屋市土木局道路建設課内 (電 名古屋 94-5511) |
| 関西支部 | 大阪市天王寺区堀越町 110 天王寺ステーションビル 4 階 (電 大阪 716-7881 内 33) |
| 中国四国支部 | 広島市八丁堀 122 KK水野組内 (電 広島 21-5131) |
| 西部支部 | 福岡市渡辺通り 2 丁目 九州電力KK土木部内 (電 福岡 76-3031) |

昭和 39 年 7 月 10 日印刷

昭和 39 年 7 月 15 日発行

土木学会誌 第 49 卷 第 7 号

印刷者 大沼 正吉

印刷所 株式会社 技報堂

東京都港区赤坂溜池 5 番地

口絵製版印刷者 若林 孟夫

印刷所 若林原色写真工芸社

東京都港区芝倉杉川口町 20 番地

発行者 羽田 巖

発行所 社団法人 土木学会

東京都新宿区四谷一丁目

定価 200 円 (送料 20 円)

振替 東京 16828 番

電話 (351) 5130・5138・5139 番